

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要						
事業開始年度	S 4 6 ~					
総合計画	大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	根拠法令・例規等	
	中項目	基本施策	03	個性あふれる観光のまちづくり		
	小項目	施策	01	観光		
	事務事業名		02	観光団体等支援事業		
	担当者(室)	観光係長 高橋 幸子		問合せ先	職・氏名	観光係長 高橋 幸子
	電話	64-1832(274)		このシート作成に要した時間	7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光関連団体
目的(何のために)	観光案内サービス、観光PR活動の推進に取り組む団体等に、補助金を交付することにより、団体の目的達成のための支援をする。また、観光施策の推進のためには官民の相互協力が不可欠である。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光団体等の会員の増加

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
備前市観光協会補助事業	備前市観光協会への運営に要する費用の一部補助(1,408,000円)	
日生町観光協会補助事業	日生町観光協会への運営に要する費用の一部補助(2,000,000円)	
吉永町観光協会補助事業	吉永町観光協会への運営に要する費用の一部補助(200,000円)	
和意谷史跡保存会助成事業	和意谷史跡である参道の草刈等に対し保存会へ80,000円補助	
八塔寺ふるさと村運営協議会助成事業	資料館、公園管理、遊歩道整備等に対して八塔寺ふるさと村運営協議会へ補助。450,000円	
県ふるさと村運営協議会会費	備前(八塔寺)津山(大高下)鏡野(越畑)高梁(石火矢、吹屋)吉備中央(円城)笠岡(真鍋島)が加入しており、負担金90,000円	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
事業費	直接事業費	千円	5,193	4,239	4,228
	必要人員	人	0.07	0.04	0.05
	必要人員人件費	千円	529	414	536
決算額	事業費計		5,722	4,653	4,764
	国				
	県				
	支				
財源	受				
	益				
	者				
その他	負担比率	%	-	-	-
	一般財源		5,722	4,653	4,764
結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
会員数/人口	説明				
結果指標	結果指標量	1	0.97	1	
	対前年比%	-	97.0%	93.8%	
	活動コスト	円	5,709,000	4,653,000	4,764,000
	単位当たりコスト	円	5,709,000	4,796,907	5,235,165

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
観光協会等会員の人口比	目標値(A)	1.1	1.1	1.1	1.1
	実績値(B)	1	0.97	0.91	到達目標値
	達成率(B/A)	90.91%	88.18%	82.73%	平成22年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
「観光協会等の活動が、会員の増加に繋がりが観光振興に結びついているのか？」判断材料として人口比率を用いる。					

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	C
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	手段	
有効性の評価	市民参画度	C
	目的達成度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	観光協会の統合は今後の課題である。						

総合評価	
観光協会の統合の必要性はあるが、地域性と独自性を生かしながら1つのものにまとめることは困難である。今後も慎重に検討していきたい。	評価区分 <A-E>  <b>C</b>

平成23年度の方向性及び取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	観光協会3団体の統合は必要である。今後も調整に時間を要すると思うが推進していくべきである。						

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
事業の目的やその数値目標を定める成果指標を評価する際に、留意事項を踏まえて下さい

